R/DRシリーズ

USER'S GUIDE

ユーザーズガイド 1

◀はじめにお読みください▶

Contents

このたびは、R/DRシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書（ユーザーズガイド1）では、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続して、Windowsのセットアップを終了するまでの手順を説明しています。R/DRシリーズを正しくお使いいただくためにも、必ず本書をお読みください。読み終わったあとは、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管してください。

ユーザーズガイド2（画面で読むマニュアル）では、本機を使うための詳細な説明、および本機で周辺機器を使うための説明を掲載しております。本書とあわせてお読みください。
なお、ユーザーズガイド2（画面で読むマニュアル）は、本機にPDFファイル形式で収録されています。
また、製品仕様およびその他の製品情報は、弊社Webサイトに掲載しております。

ご使用の前に「安全上のご注意」（☞2ページ）を必ずお読みください。

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

イラストや画面表示に関して

本書中に出てくるWebサイトの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

機能の区別による表記

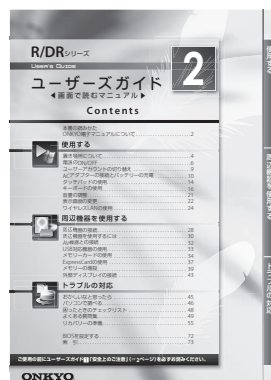
地上デジタルテレビ搭載モデル	地上デジタルテレビの機能を搭載したモデル。地上デジタル放送の視聴が可能。

■ Windows® 7の表記について

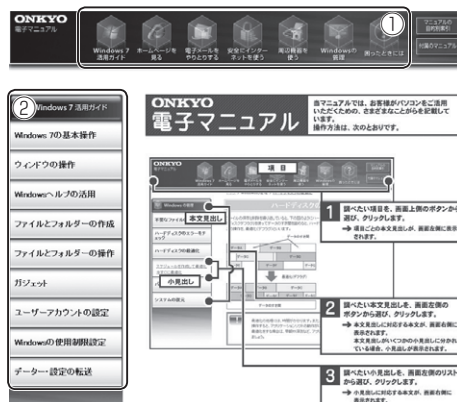
本書では、Windows® 7 Home Premiumを、Windows 7またはWindowsと省略して表記しています。Windows 7には、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

ユーザーズガイド2～画面で読むマニュアル～について

ユーザーズガイド2では、キーボードやワイヤレスLAN機能など本製品の基本的な機能についての操作方法や、周辺機器との接続・使用方法について説明しています。（Windows 7のセットアップ後に、内容を一通りお読みください。）

ユーザーズガイド2は、本製品にPDFファイル形式で収納されています。デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」アイコンをダブルクリックして、［付属のマニュアル］→［ユーザーズガイド2］メニューをクリックし、表示される画面をクリックすると表示されます。

ONKYO電子マニュアルについて

ONKYO電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows 7の基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。

ONKYO電子マニュアルは、デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックして起動します。
調べたい内容を画面上のタイトル一覧からクリック①し、次に画面左の目次をクリック②することで、内容が画面右に表示されます。

・ONKYO電子マニュアルは、オンキヨー株式会社の著作物です。
・ONKYO電子マニュアルの内容は、予告なしに変更される場合があります。また、ONKYO電子マニュアルを運用した結果については、弊社は一切の責任を負わないものとします。
・ONKYO電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
・ONKYO電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にONKYO電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。
・ONKYO電子マニュアルは、本製品以外での動作は保証いたしかねます。

安全上のご注意

本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⃠記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
左図の場合は「分解禁止」という意味です。

●記号は規制または指示の行為を示します。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」という意味です。

⚠ 警告（本機・ACアダプター）

●洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●絶対に分解・改造をしないでください。火災・感電の原因となります。
また、無償修理の対象外となります。

●付属のACアダプターおよび電源ケーブル以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●ACアダプターから何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちに電源プラグを抜いてください。
そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

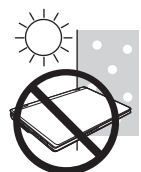
●電源が100V～240Vの範囲内であることを確認して使用してください。
100V～240Vを超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

●長時間使用する場合は、本体の底部が発熱しますので、膝の上に置いて使用しないでください。（発熱することは異常ではありません。）

⚠ 注意（本機・ACアダプター）

●電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
故障の原因となります。

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
漏電・火災の原因となります。

●振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。
故障による火災･感電の原因となります。

●熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、温度湿度条件を超える範囲では使用･保存しないでください。
故障の原因となります。

●タッチパッドの表面をペン先などの尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。
故障の原因となります。

●ディスプレイを閉じるときは、キーボードとの間にボールペンなどの異物がないかどうかご確認ください。
異物を挟んだまま、ディスプレイを閉じますと、ディスプレイを破損する恐れがあります。

●タッチパッドは軽く触れるだけで動作します。
必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を痛める原因となります。

●ディスプレイを開けるときは、中央部を持って開けるようにしてください。サイド部分を持って開けるとディスプレイを破損する恐れがあります。

⚠ 注意（本機・ACアダプター）

●本体を持ち運ぶときは、ディスプレイを閉じてください。
ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ぶと、ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

●雷が近いときは、すみやかに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、LANケーブルなど、接続されているケーブル類も抜いてください。
故障の原因となります。

●タコ足配線をしないでください。
コンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

●電源ケーブルの上にものをのせないでください。
電源ケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。

警告（バッテリー）

●付属のバッテリー以外は使用しないでください。
また、付属のバッテリーを本製品以外に使用しないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。

●バッテリーを火の中に入れないでください。破裂の恐れがあります。

●バッテリーに強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

●バッテリーから液が漏れて、液が目に入ったときは、障害を起こす恐れがあるので、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●バッテリー充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告(バッテリー)

●バッテリーが漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

●バッテリーは、危険を防止するための保護装置が組み込まれています。分解・改造などしないでください。保護装置が壊れ、発熱・発火・破裂の恐れがあります。

⚠ 注意(バッテリー)

●バッテリーから漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚がかぶれる恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗ってください。

●バッテリーは火中に投じたり、加熱・分解・ショート(+と−の端子を針金などで接続させること)はしないでください。
ケガの原因となります。

●バッテリーを、水や海水などにつけて、濡らさないでください。
バッテリーの破損や性能・寿命を低下させる原因となります。

●バッテリーを小児が使う場合、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。また、使用途中でも、取扱説明書のとおり使用しているかご確認ください。

●バッテリーを使う前に、サビ・異臭・発熱・その他異常と思われるときは、使用しないでください。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●バッテリーは乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

二次電池を安全に安心してご使用いただくためには、(社)電子情報技術産業協会の“バッテリ関連Q&A集”(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm)の内容をご覧いただきながらのご使用をお勧めいたします。

⚠ 取り扱い上の注意

●液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかいたりしないでください。
破損する恐れがあります。

●ハードディスクが動作中のときは移動させないでください。
故障の原因となります。

●本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。

●本製品の付属物は大切に保存してください。

●ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

・カラー液晶ディスプレイおよびバッテリーは消耗品です。
・カラー液晶ディスプレイの有効ドット数の割合は99.99%以上です。
※有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイに表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。
・カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
・使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10～35℃)の環境に放置した後、お使いください。

法規について

PCリサイクルについて

このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。
詳細は当社Webサイト（http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/）を参照してください。

輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。
必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。
輸出の許可の要否については、ご購入頂いた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

VCCIの基準に基づくクラスB情報処理装置です

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。
この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
(社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

STEP1　梱包箱を開けてみる

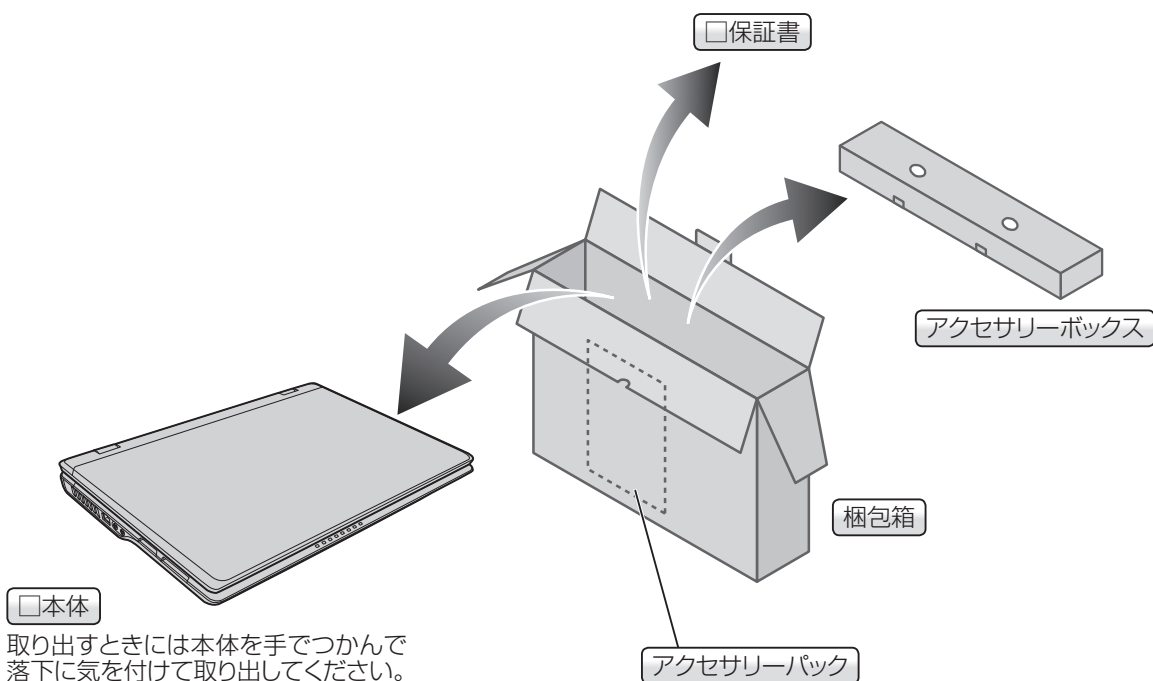
開梱の際は、安定した広めの場所で取り出しましょう。
下図を参考に、注意しながら作業をはじめましょう。
※梱包材の形状は図と異なる場合があります。

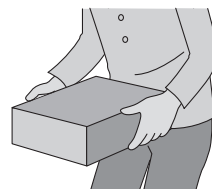
□保証書

アクセサリーボックス

梱包箱

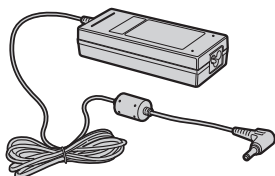
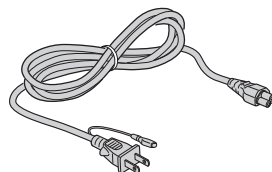
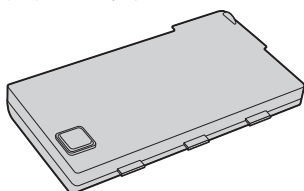
□本体

取り出すときには本体を手でつかんで
落下に気を付けて取り出してください。

アクセサリーパック

保護袋に入っていますので運ぶ際には、中の本体までしっかりと両手でつかんでください。

STEP2　付属品を確認する

梱包箱を開梱したら、付属品の確認をおこないましょう。
万一、付属品の不足や不良がありましたら、付属の「サポート・ガイド」または「ケア・シート」に記載のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

アクセサリーボックス

□ ACアダプター

□ 電源ケーブル

□ バッテリーパック

地上デジタルテレビ搭載モデルのみ
□ miniB-CASカード
□ Fコネクタ変換アダプター
□ ドライバー（ねじ回し）

アクセサリーパック

マニュアル冊子等

□ ユーザーズガイド 1（本書）
□ ケア・シート
□ Windows 7案内ガイド
（マイクロソフト製）
□ カスタマー登録ガイド
□ サポート・ガイド

※その他、お知らせが付属する場合があります。

CD-ROM

□ OS選択起動ディスク

Microsoft® Office付属モデルまたはB.T.O.で選択されたお客様
□ Officeパック
（取扱説明書およびCD-ROM）

アプリケーションCD-ROMをB.T.O.で選択されたお客様
□ アプリケーションCD-ROM

※製品をB.T.O.でご購入された場合、お客様が選択されたB.T.O.構成により付属品が変わることがございます。ご了承ください。

STEP3　バッテリーと電源ケーブルを接続する

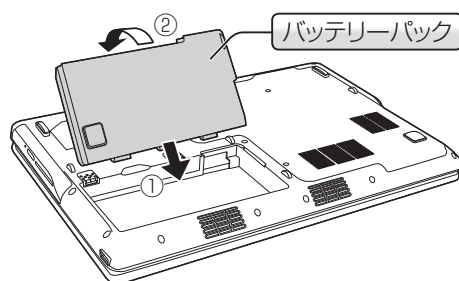
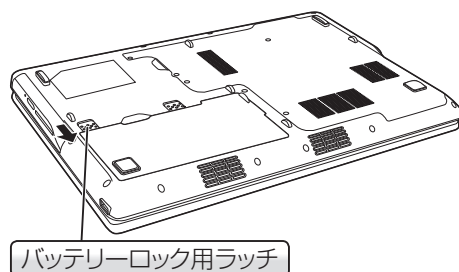
バッテリーパックを取り付け、ACアダプターおよび電源ケーブルを接続しましょう。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってACコンセントから電源をとる方法と、バッテリーパックを使う方法の2通りあります。

バッテリーパックの取り付け

はじめに、バッテリーパックを取り付けます。バッテリーは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、バッテリーパックを本機に取り付けてから、ACアダプターを接続してください。バッテリーパックの充電が始まります。

1. **ディスプレイカバーは閉じたまま、本体を裏返して静かに置きます。**

2. **バッテリーパックを矢印の方向に動かしながら取り付けます。**

バッテリー取り外し用ラッチがロックされるまで、確実にはめ込んでください。

3. **バッテリーロック用ラッチを矢印の方向にスライドし、ロックします。**

ACアダプターの取り付け

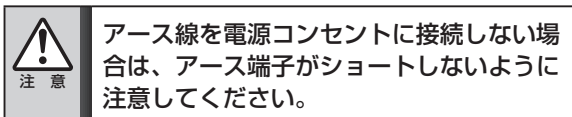
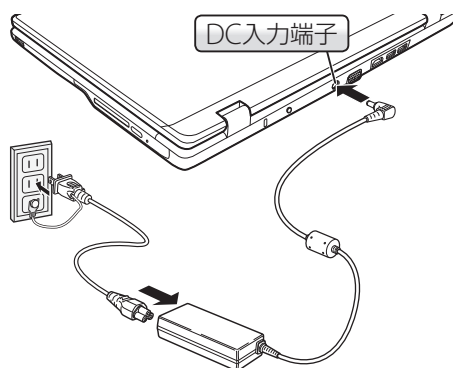
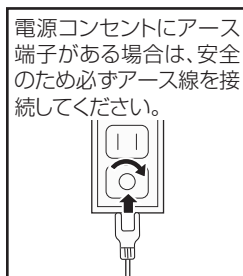
ACアダプターを取り付けて、バッテリーパックを充電します。

警告

- **弊社純正のACアダプターおよび電源ケーブル以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターおよび電源ケーブルの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターおよび電源ケーブルが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

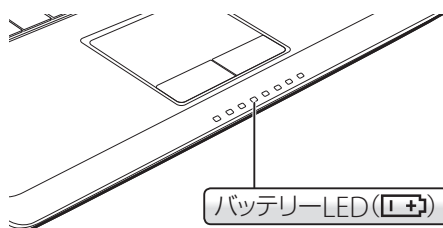
1. **ACアダプターのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。**

2. **電源ケーブルをACアダプターと電源コンセントに接続します。**

バッテリーLED（ ）が点灯し、バッテリーパックの充電が始まります。

アース線を電源コンセントに接続しない場合は、アース端子がショートしないように注意してください。

バッテリーLED（ ）の表示とバッテリーの状態

状　態	内　容
点灯（黄）	バッテリーが充電中の状態です。
点灯（橙）	バッテリーの残量が9%以下の状態です。
消灯	次のいずれかの状態です。 ・バッテリーで動作中 ・バッテリーが満充電 ・バッテリーが装着されていない

バッテリーのみで使用するときは、バッテリーLEDの点灯状態を確認して充電されたことを確認後、ACアダプターを取り外してください。

AC電源で使用するときは、このままACアダプターを接続してください。

バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。
バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

・バッテリーパックの充電中も本製品を使用できます。
・本製品に付属のACアダプターは、100V～240Vに対応しており、自動的に切り替わりますので海外でも使用できます。ただし、海外の電源コンセントは、日本と形状が異なる場合がありますので注意してください。

STEP4　Windows 7をセットアップする

必要な機器を接続した後、Windows 7をセットアップしましょう。
Windows 7のセットアップが終了すれば、本機のセットアップは完了です。

セットアップの準備をする

Windows 7のセットアップ中は、画面の切り替えに少し時間がかかることがあります。「しばらくお待ちください」といったメッセージが表示されたり、マウスカーソル（マウスポインター）が待機中を知らせる形になっているときは、キーボードのキーやマウスのボタンを何度も押さないでください。

・操作の途中で電源を切らない！
Windowsのセットアップには、時間がかかります。Windowsのセットアップ中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。セットアップが終わる前に電源をOFFにすると、故障の原因となります。

・ACアダプターを接続したままでおこなうこと
セットアップの途中でバッテリーが不足しないよう、本機とACアダプターを接続したまま、セットアップをおこなってください。セットアップが終わる前にバッテリーが不足すると、故障の原因となります。

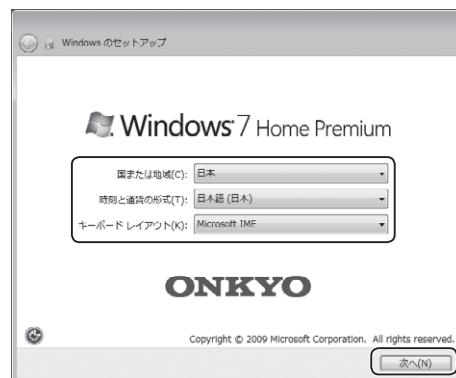
・画面表示が消えてしまったら・・・
セットアップの途中で、しばらく操作をせず放置すると、画面表示が消えてしまうことがあります。電源スイッチまたはキーボードの適当なキーを押すと、再度表示されます。

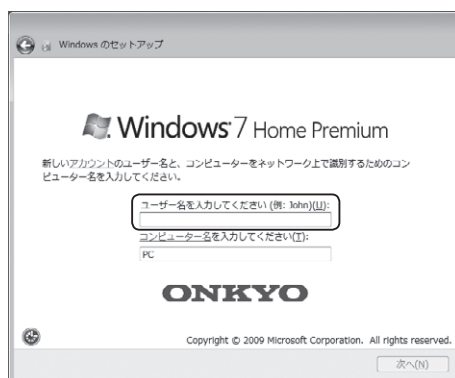
1. **電源スイッチを押します。**

本機の電源をONにしてから、しばらくの間は、画面の表示がいろいろ変化します。手順2の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

2. **次のように設定してください。**
「国または地域」: 日本
「時刻と通貨の形式」: 日本語（日本）
「キーボードレイアウト」: Microsoft IME
確認後、[次へ] ボタンをクリックします。

画面はWindows 7 Home Premiumで説明していますが、セットアップの手順はWindows 7 Professional、その他と同じ流れになります。

次の画面が表示されます。

3. **「ユーザー名を入力してください」にユーザー名を任意で入力します。**

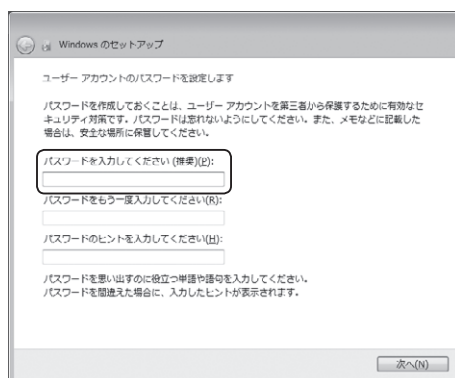
「ユーザー名」「コンピューター名」「パスワード」は、忘れないように控えをとっておいてください。

4. **必要に応じ、「コンピューター名を入力してください」のコンピューター名を変更します。**

ユーザー名を入力すると、ユーザー名の後ろに「-PC」と付いたコンピューター名が自動的に入力されます。

5. **［次へ］ボタンをクリックします。**

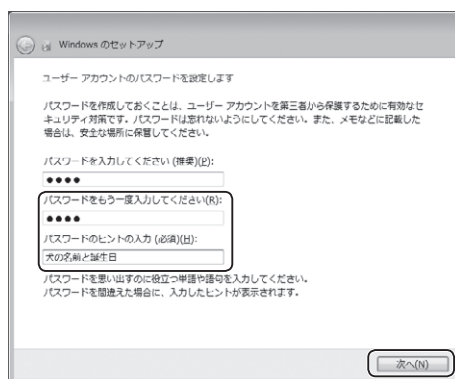
次の画面が表示されます。

6. **必要に応じて、「パスワードを入力してください」に任意のパスワードを入力します。**

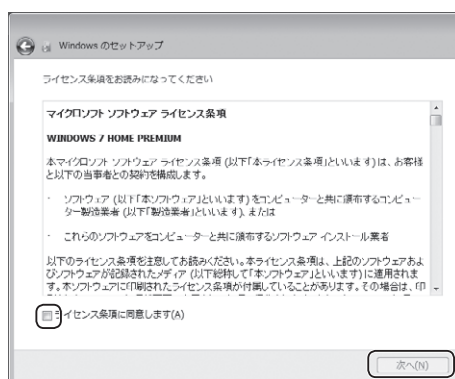
セキュリティー上の観点から、パスワードを設定しておくことをおすすめします。パスワードを設定しない場合は、手順9に進みます。

7. **「パスワードをもう一度入力してください」に手順6で入力したパスワードを再度入力します。**

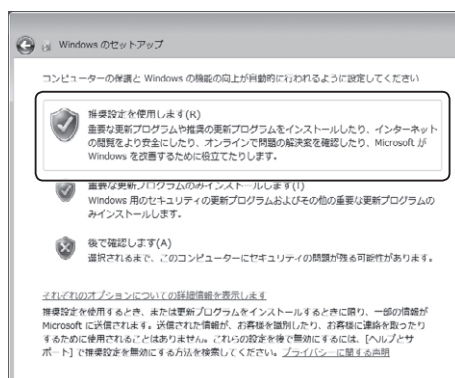
8. **「パスワードのヒントの入力」にパスワードを思い出すためのヒントを入力します。**

9. **［次へ］ボタンをクリックします。**

次の画面が表示されます。

10. **ライセンス条項をお読みの上、「ライセンス条項に同意します」をクリックしてチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。**

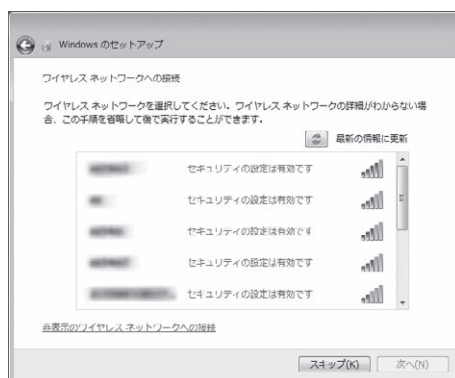
ライセンス条項に同意しなければ、Windowsのセットアップを続けることはできません。

次の画面が表示されます。

11. **「推奨設定を使用します」をクリックします。**

次の画面が表示されます。

12. **現在の日付、および時刻を正しく設定して、[次へ] ボタンをクリックします。**

次の画面が表示されます。

13. **ワイヤレスLANの設定をセットアップ終了後におこなう場合、[スキップ] ボタンをクリックします。**

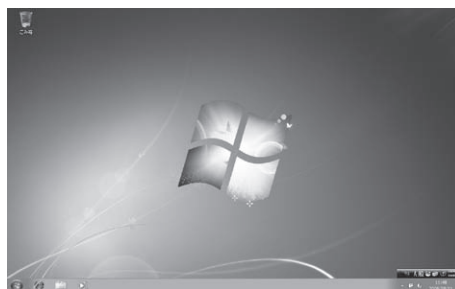
すでにワイヤレスLANの接続環境が整っており、ここでワイヤレスLANの設定をおこなう場合は、接続先を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

14. 本機がネットワークに接続されている場合、接続環境にあわせて接続場所を選択します。

本機にLANケーブルが接続されていない場合、この画面は表示されません。

不明な場合は「パブリックネットワーク」を選択し、Windows 7のセットアップの終了後に設定してください。

15. Windows Liveの設定をセットアップ終了後におこなう場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

ここでWindows Liveの設定をおこなう場合は、[同意する] ボタンをクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。

しばらくすると自動的に再起動し、デスクトップ画面が表示されます。

以上で、Windows 7のセットアップは完了です。

STEP5　地上デジタルテレビを視聴する

地上デジタルテレビ搭載モデルのみ

本機は、地上デジタルテレビチューナーを搭載しています。ここでは、地上デジタル放送を視聴するために必要な準備作業をおこないます。

地上デジタルテレビについて

本機は、地上デジタル放送のみに対応しており、BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・アナログ放送には対応しておりません。

地上デジタル放送の対応について

・デジタルハイビジョン放送に対応
　高画質できめ細やかな映像が楽しめます。
・多チャンネル放送に対応
　デジタル圧縮技術によって、1つのテレビ放送局で複数の番組を楽しめます。
・データ放送に対応
　文字や図などで情報を提供する放送です。地域に密着したニュースや天気予報などがあります。
・双方向番組に対応
　LAN接続することによってデータ放送の双方向番組に参加することができます。
・電子番組表
　デジタル放送では電子番組表（EPG）の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表（EPG）を使用します。
・ケーブルテレビ（CATV）放送対応について
　本機では、CATV放送の「パススルー方式」に対応しております。「トランスモジュレーション方式」は対応しておりません。
　CATVによる地上デジタル放送の視聴についてはお客様が契約されているケーブルテレビ会社にお問合わせください。

地上デジタル放送の視聴については「Windows Media Center」にておこないます。
[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [Windows Media Center] を選択して、画面の表示にしたがい、操作してください。

B-CASカードおよびminiB-CASカードについて

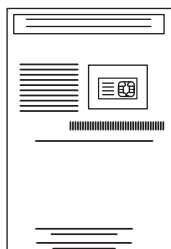
・B-CASカードおよびminiB-CASカードは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）からお客様へ貸与されているものです。お客様がカードのパッケージを開封すると、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズとの間にB-CASカード使用許諾契約が成立したものとみなされます。
・B-CASカードおよびminiB-CASカードは、B-CASカード使用許諾契約約款にしたがって管理してください。
・B-CASカードおよびminiB-CASカードを紛失、盗難、破損した場合の対応や、その他B-CASカードおよびminiB-CASカードに関する質問は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合せください。

お問合わせ先
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
（略称：B-CAS）カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

視聴に必要なもの

地上デジタル放送を見るために必要なものは、次の通りです。

・miniB-CASカード
（地上デジタルテレビ搭載モデルのみ付属）

・Fコネクタ変換アダプター
（地上デジタルテレビ搭載モデルのみ付属）

以下のものは付属されていません。必要に応じてご用意ください。
・F型コネクタープラグ付テレビアンテナケーブル

・UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）
・その他必要に応じて用意するもの
　・分波器

miniB-CASカードを取り付ける

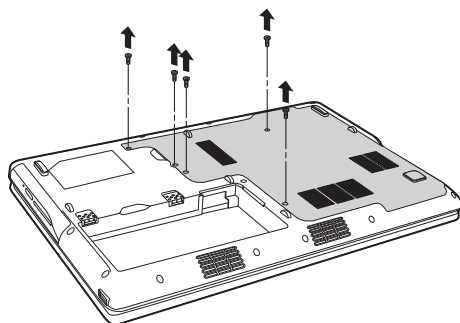
付属のminiB-CASカードを取り付ける手順は、次のとおりです。

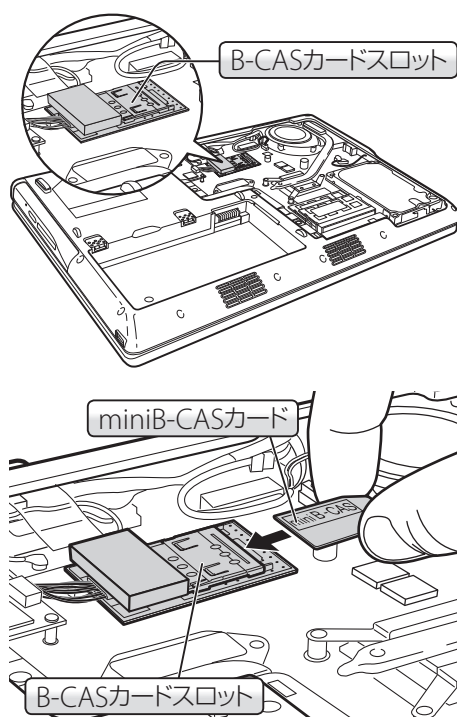
miniB-CASカードを取り扱うときに気をつけること

- 装着の前には、必ず本機の電源をOFF（シャットダウン）にしてください。
- 装着の前には、必ずバッテリーパックとACアダプターを取り外してください。
- miniB-CASカードおよびB-CASカードスロットは静電気にたいへん弱い部品です。静電気を帯びた物や人の手でminiB-CASカードおよびB-CASカードスロットに触れると、miniB-CASカードおよびB-CASカードスロットが壊れる恐れがあります。miniB-CASカードおよびB-CASカードスロットを取り扱うときは、ドアのノブなど身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてください。
- B-CASカードスロットの端子部には触れないでください。端子部分に手を触れると、接触不良によりB-CASカードスロットが壊れる恐れがあります。
- miniB-CASカードはたいへん壊れやすい部品です。取り外したminiB-CASカードは大切に保管してください。

1. ディスプレイカバーは閉じたまま、本体を裏返して静かに置きます。

2. 背面カバーを固定しているネジ（5つ）を、付属のドライバー（ねじ回し）で取り外します。

3. 背面カバーを取り外します。

4. **B-CASカードスロットに、付属のminiB-CASカードを挿入します。**

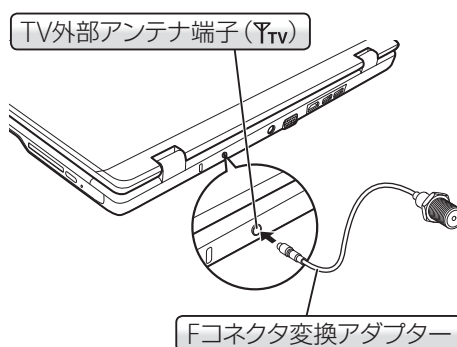
「miniB-CAS」の文字が図の向きと同じになるように、矢印の方向に挿入できるところまで差し込みます。

5. **手順2〜3の逆の手順をおこないます。**

アンテナを取り付ける

付属のFコネクタ変換アダプターを取り付ける手順は、次のとおりです。

- **地上デジタル放送に対応していないUHFアンテナや、VHFアンテナを使用している場合は、地上デジタル放送を受信できません。**
- **本機は、CATV放送の「パススルー方式」に対応しております。**
  「トランスモジュレーション方式」は対応しておりません。
  CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

1. **本機のTV外部アンテナ端子（TV）に、付属のFコネクタ変換アダプターを接続します。**

2. **Fコネクタ変換アダプターのもう一方を、市販のF型コネクタープラグ付テレビアンテナケーブルに接続し、ご家庭のテレビアンテナと接続します。**

地上デジタルテレビを視聴するには

地上デジタルテレビの視聴は、「Windows Media Center」にておこないます。

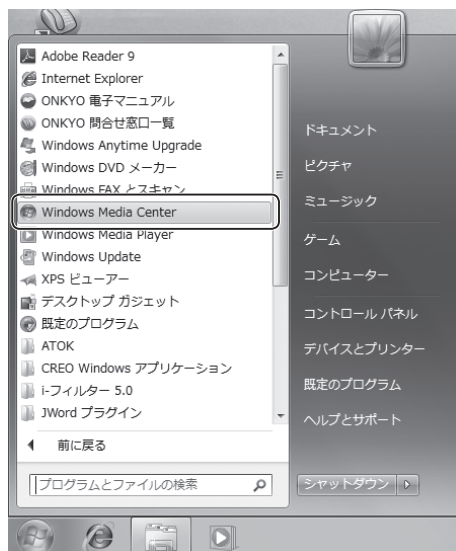
Windows Media Centerを起動する前に、本機をインターネットに接続してください。
Windows Media Centerの設定時、インターネットを通じてテレビ信号の情報を取得する必要があるためです。

1. **[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [Windows Media Center] を選択します。**

Windows Media Centerが起動します。

2. **画面の指示にしたがい設定を進めます。**

Media Centerテレビが起動します。

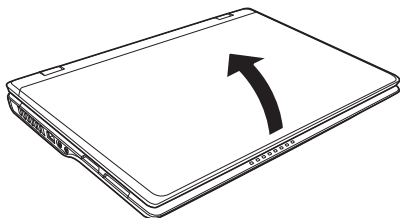
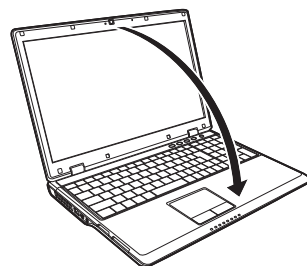
設定中に「Play Ready」をインストールする画面が表示されます。画面の指示にしたがい、「Play Ready」をインストールしてください。

3. **「テレビの初期設定」を選択します。**

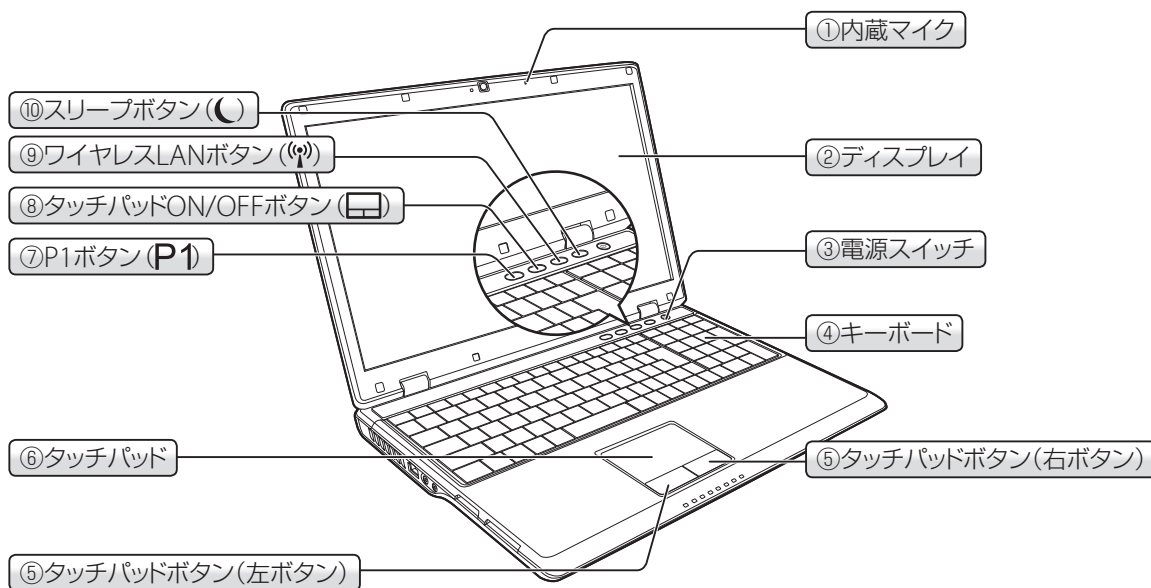
4. **画面の指示にしたがい設定を進めます。**

5. **【テレビの設定】画面の[完了]をクリックします。**

STEP6　各部の名前と機能を確認する

本体各部の名前とその機能について説明しています。
各部の詳細な説明、および周辺機器との接続方法については、ユーザーズガイド❷をご参照ください。

ディスプレイカバーの開け閉め

ディスプレイカバーは、見やすい角度まで開きます。

ディスプレイカバーを閉じるときは、ディスプレイカバーを手前に倒します。

まえ

① 内蔵マイク（MIC）
本機に音声を入力します。

② ディスプレイ
文字やグラフィックが表示されます。省電力機能によりパソコンが動作していなければ、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定できます。

③ 電源スイッチ（⏻）
電源OFF時に押すと、本機の電源をONします。（☞12ページ）
電源ON時に押すと、設定した動作を実行します。初期設定ではスリープ状態に設定されています。
設定は［スタート］ボタン→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［電源オプション］欄の［電源ボタンの動作を選択する］で選択できます。

・HDD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。
・電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

④ キーボード
キーを押して文字を入力したり、コマンド（命令）を送ったりします。

⑤ タッチパッドボタン（右ボタン・左ボタン）
それぞれ、マウスの右ボタン、左ボタンに対応しています。

⑥ タッチパッド
指を軽くのせて動かすと、ディスプレイ上のマウスポインターが移動します。

⑦ P1ボタン（P1）
任意の機能を割り当てて、機能を実行します。

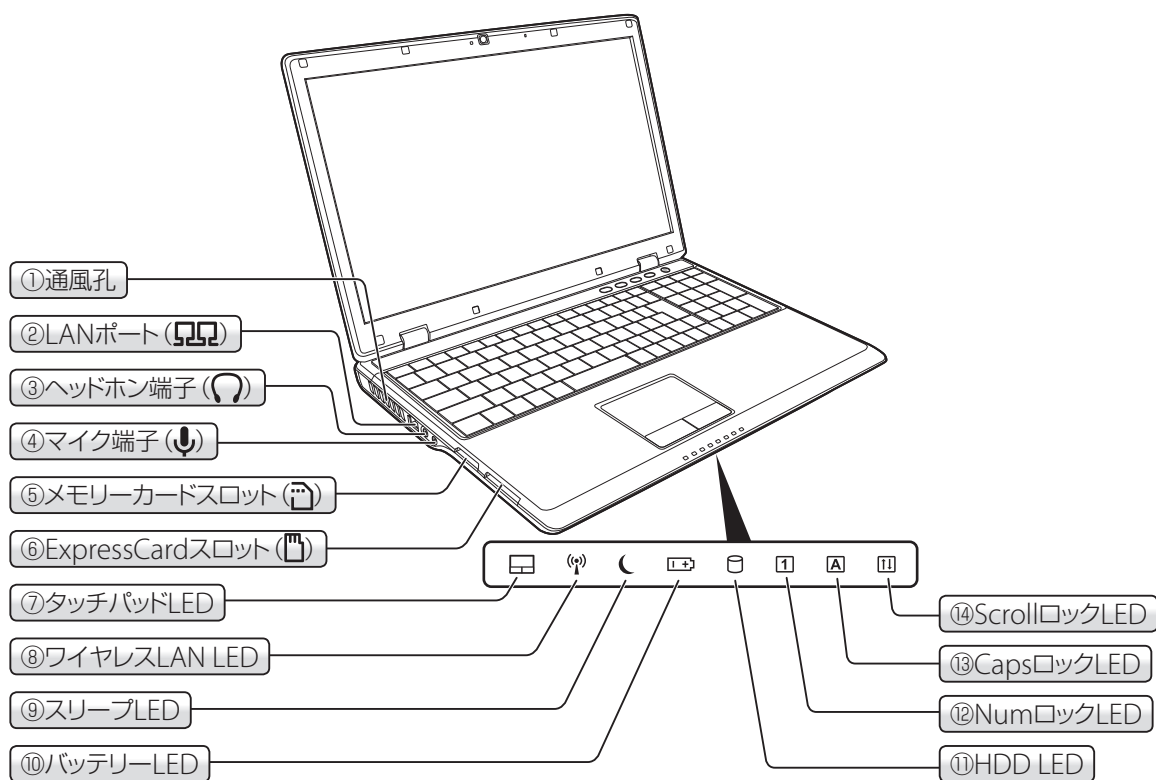
・はじめて機能を割り当てるときは、P1ボタンを押して表示される【ユーザー定義キー】画面で、画面にしたがって任意のアプリケーションを設定します。
・機能の割り当てを変更するときは、タスクバーのをクリックし、「System control Manager」アイコンを右クリックし、「ユーザー定義キー」を選択して表示される【ユーザー定義キー】画面で、現在の設定を削除してから、別のアプリケーションを設定します。

⑧ タッチパッドON/OFFボタン（）
タッチパッドの機能をON/OFFします。

⑨ ワイヤレスLANボタン（）
ワイヤレスLAN機能をON/OFFします。

⑩ スリープボタン（☾）
本機をスリープの状態にします。電源ボタンを押すと元に戻ります。

まえ/ひだり

①通風孔
②LANポート（）
③ヘッドホン端子（）
④マイク端子（）
⑤メモリーカードスロット（）
⑥ExpressCardスロット（）
⑦タッチパッドLED
⑧ワイヤレスLAN LED
⑨スリープLED
⑩バッテリーLED
⑪HDD LED
⑫NumロックLED
⑬CapsロックLED
⑭ScrollロックLED

① 通風孔
パソコン内部の熱を冷却する風を通します。壁などで塞がないでください。

② LANポート（）
10BASE-T/100BASE-TXのLAN接続ができます。

注 意

本機のLANポートに接続できるケーブルは10BASE-T/100BASE-TX規格のイーサーネットケーブルだけです。それ以外の規格のケーブルは使用しないでください。特にISDNケーブル、モジュラーケーブルは、絶対にLANポートへ接続しないでください。故障の原因となります。

③ ヘッドホン端子（）
ヘッドホンを接続します。

④ マイク端子（）
マイクロホンを接続します。マイクロホンからの音声を本機に取り込みます。

⑤ メモリーカードスロット（）
以下のメモリーカードを差し込みます。
・メモリースティック　・メモリースティックPRO
・SDメモリーカード　・SDHCメモリーカード
・MMC

・メモリーカードにはそれぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「microSDカード」など、一覧に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

⑥ ExpressCardスロット（）
ExpressCard/34規格に準拠したExpressCardを差し込みます。

⑦ タッチパッドLED（）
タッチパッドの機能がONのときに点灯します。

⑧ ワイヤレスLAN LED（）
ワイヤレスLANの機能が作動すると点灯します。

⑨ スリープLED（）
本機がスリープの状態のときに点滅します。

⑩ バッテリーLED（）
バッテリーの充電状態を表示します。（☞11ページ）

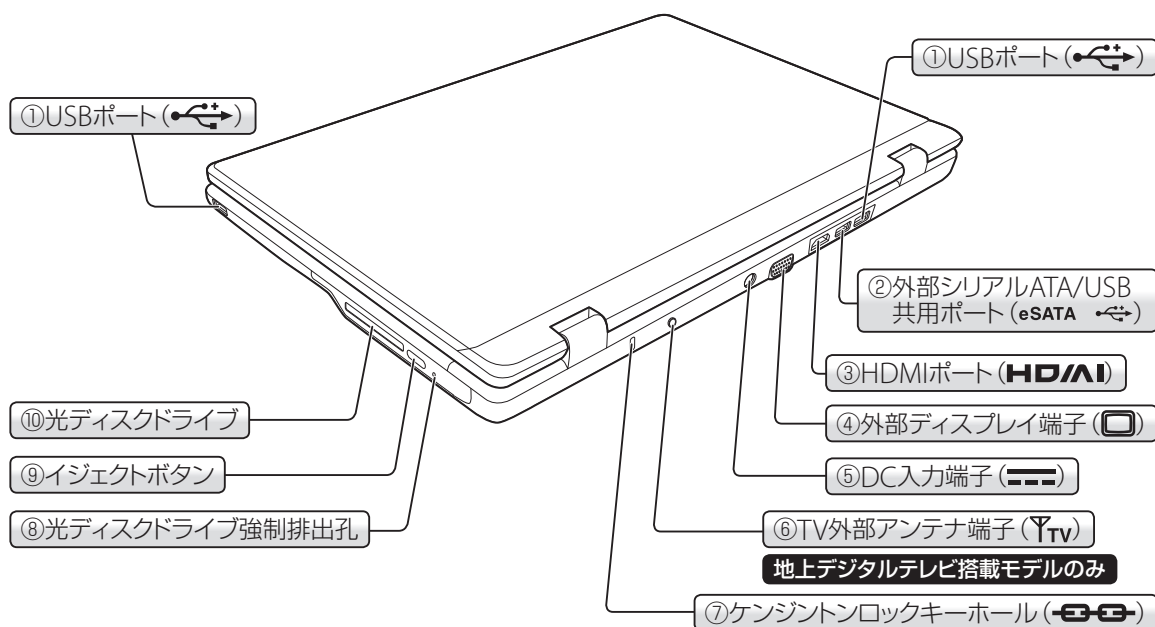
⑪ HDD LED（エイチディーディー）（）
ハードディスクドライブまたは光ディスクドライブのアクセス中に、青色に点滅します。

・HDD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。
ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。
・電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

⑫ Numロック（ニューメリック）LED（1）
NumLockキーがロック状態のときに、青色に点灯します。

⑬ Caps（キャップス）ロックLED（A）
CapsLockキーがロック状態のときに点灯します。
ロック状態時は、Shiftキーを押さずアルファベットを大文字で入力できます。

⑭ ScrollロックLED（）
ScrollLockキーがロック状態のときに、青色に点灯します。

みぎ/うしろ

① USBポート（）
USB2.0対応の周辺機器を接続します。USB1.1対応の周辺機器も接続できますが、転送速度などはUSB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。

② 外部シリアルATA/USB共用ポート（eSATA ）
シリアルATA（SATA）対応の周辺機器を接続します。
また、USB2.0対応の周辺機器も接続できます。USB1.1対応の周辺機器も接続できますが、転送速度などはUSB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。

③ HDMIポート（HDMI）
HDMI端子付きのディスプレイやテレビに接続します。

④ 外部ディスプレイ端子（）
外部ディスプレイを接続します。

⑤ DC入力端子（）
付属のACアダプターを接続します。（☞10〜11ページ）

注意

・付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

⑥ TV外部アンテナ端子（TV） 地上デジタルテレビ搭載モデルのみ
付属のFコネクタ変換アダプターを接続し、ご家庭のテレビアンテナを接続します。（☞18ページ）

⑦ ケンジントンロックキーホール（）
盗難防止用のロックに使用する取り付け穴です。

⑧ 光ディスクドライブ強制排出孔

イジェクトボタンを押しても光ディスクドライブのトレイが出てこない場合に使用します。この排出孔に針金などを押し込むと、光ディスクドライブのトレイを強制的に排出させることができます。

- **光ディスクドライブが正常に動作している場合は使用しないでください。故障の原因となります。**
- **光ディスクドライブを排出するときは、ディスクが回転していないことを確認してください。ディスクが回転しているときに排出すると、故障の原因となります。**

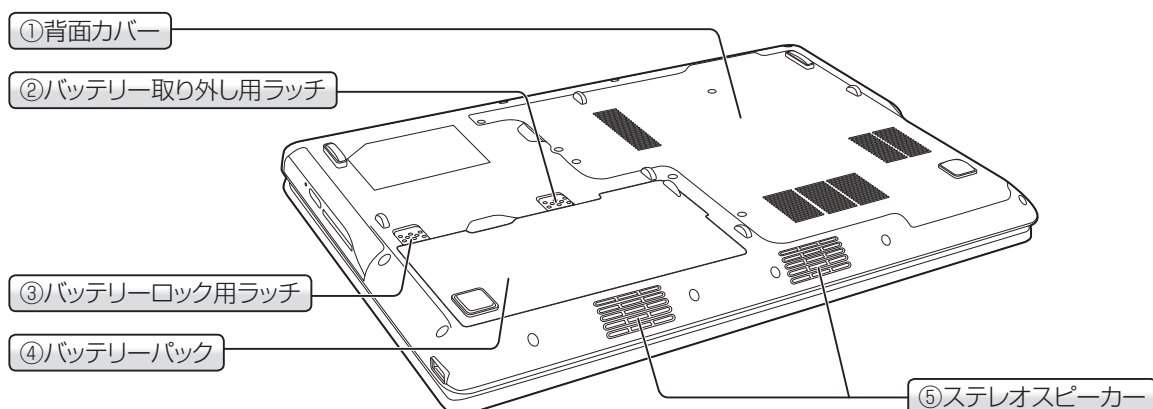
⑨ イジェクトボタン

光ディスクドライブからディスクを取り出すときに押すボタンです。

⑩ 光ディスクドライブ

光ディスクドライブが読み込み可能なディスクを入れます。

光ディスクドライブの仕様は、製品の構成によって異なります。

した

① **背面カバー**
　カバーの下に地上デジタルテレビチューナーが取り付けられており、miniB-CASカードを取り付けることができます。miniB-CASカードを取り付け・取り外しするときは、カバーを取り外してください。(☞17～18ページ)

② **バッテリー取り外し用ラッチ**
　バッテリーパックを取り外すときに、指でスライドします。

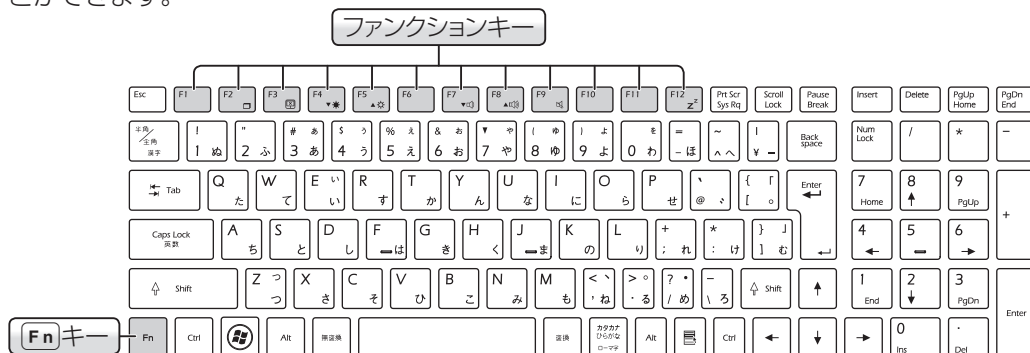
③ **バッテリーロック用ラッチ**
　バッテリーを固定するためのラッチです。バッテリーを取り外すときに解除します。

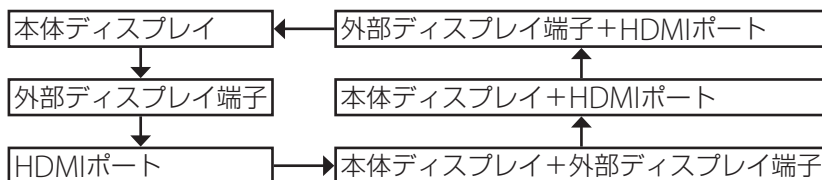
④ **バッテリーパック**
　電源コンセントが無い場所でパソコンを動作させるためのバッテリーです。(☞10ページ)

⑤ **ステレオスピーカー**
　Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

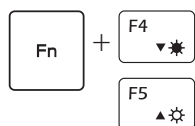
音量はキーボードを使って操作できます。[Fn]を押しながら[F7]キーを押すことで音量を下げることができます。[Fn]を押しながら[F8]キーを押すことで音量を上げることができます。

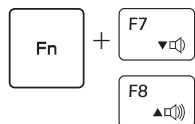
ファンクションキー

キーボードの[Fn]キーとファンクションキーを組み合わせると、本機のさまざまな設定をおこなうことができます。

本体ディスプレイ表示か外部ディスプレイ表示かを切り替える

[Fn]キーを押しながら[F2]キーを1回押すごとに、次の順で、映像の表示先が切り替わります。

タッチパッドの動作をON/OFFする

[Fn]キーを押しながら[F3]キーを押すと、タッチパッドの動作がOFFになります。もう一度押すとONに戻ります。

輝度を調整する

[Fn]キーを押しながら[F4]キーを押すごとに、ディスプレイの輝度が下がり、[F5]キーを押すごとにディスプレイの輝度が高くなります。

スピーカーの音量を調整する

[Fn]キーを押しながら[F7]キーを押すごとに音量が下がり、[F8]キーを押すごとに音量が上がります。

スピーカーの音を消す（ミュート）

[Fn]キーを押しながら[F9]キーを押すと、スピーカーの音が消えます。もう一度押すと元に戻ります。

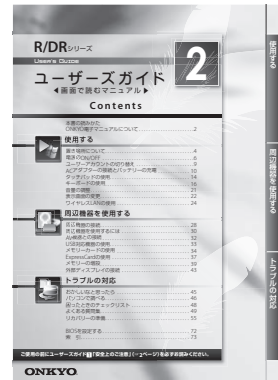
省電力機能を実行する

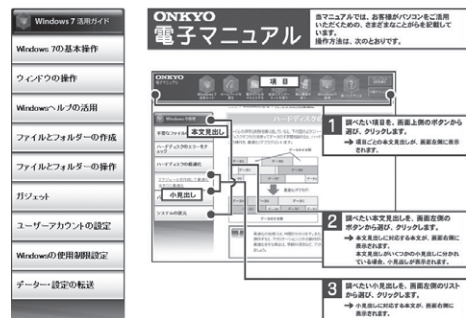
[Fn]キーを押しながら[F12]キーを押すと、スリープの状態に入ります。スリープの状態から復帰する場合は、電源スイッチ（☞12ページ）を押します。

困ったときには

本機をご使用中に、困ったことがあったり、調べたいことがらが発生した場合、次をご参照ください。

■ ユーザーズガイド❷

本機をご使用いただくための、基本的な情報を記載しています。困ったことがあったときは、「トラブルの対応」の章をご参照ください。
なお、ユーザーズガイド❷は、本機にPDFファイル形式で収録されています。デスクトップ画面上の「ONKYO電子マニュアル」をダブルクリックし、「付属のマニュアル」-「ユーザーズマニュアル2」をクリックして表示される画面から、ユーザーズマニュアル❷の表紙をクリックすると表示されます。

■ ONKYO電子マニュアル（デスクトップ画面上の［ONKYO電子マニュアル］アイコンをダブルクリック）

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows 7やインターネットの便利な使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

■ ONKYO問合せ窓口一覧（デスクトップ画面上の［ONKYO問合せ窓口一覧］アイコンをダブルクリック）

ONKYOへのお問い合わせ先、および各種アプリケーションソフトについてのお問い合わせ先を掲載しています。

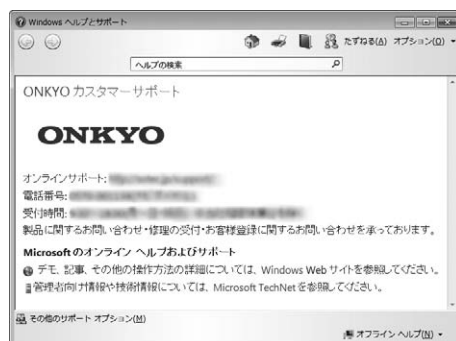
■ マイクロソフト サポート オンライン（http://support.microsoft.com/）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。

■ オンラインサポート
（http://pc-support.jp.onkyo.com/）

弊社製品の仕様の公開や、カスタマーサポートセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

■ ヘルプとサポート
（[スタート] ボタン→ [ヘルプとサポート]）

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。

■ カスタマーサポートセンター

ここで紹介した電子データおよびWebサイトを見ても問題が解決しない場合は、カスタマーサポートセンターへご連絡ください。

カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル

電話：0570-001134

または

電話：03-6746-0001

受付時間：9:30 ～ 18:00（月曜～日曜・祝日）
※当社指定休業日を除く

おかしいなと思ったら

本機の電源をONにしても、Windowsが正しく起動しないとき、まずはここに記載している項目を確認してください。
キーボードが操作できない等の基本的なトラブルについては、ユーザーズガイド❷の「よくある質問」をご参照ください。

Q.1 電源スイッチを押しても動かない

A
・ACアダプターは正しく接続されていますか？
ACアダプターのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプターの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・バッテリーは十分に充電されていますか？
ACアダプターを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

・ACアダプターが故障している可能性があります。
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプターが故障している可能性があります。カスタマーサポートセンターへお問い合せください。

・本機が故障していることがあります。
カスタマーサポートセンターへお問い合せください。

Q.2 画面に何も表示されない

A
・本機の電源はONになっていますか？
本機の電源スイッチをONにしてください。

・表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。

・起動およびスリープ/休止状態からの復帰に時間がかかっている可能性もあります。
本機のHDD LEDを確認し、点滅している場合はしばらくお待ちください。

Q.3 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A
・パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。
リカバリーを試してください。
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクに保存されたデータはすべて消去されてしまいます。
リカバリー方法は、「リカバリーの方法」(☞33～39ページ)およびユーザーズガイド❷をご参照ください。
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。

・これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクの物理的な接触不良の可能性もありますので、カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

Q.4 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A ・この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。
セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.5 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。
「セーフモード」でWindowsを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindowsが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。
「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

①本機の電源をONにして、「ONKYO」ロゴが表示されている間に[F8]キーを押します。
② [詳細ブートオプション] が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
③ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindowsが起動します。
④ [スタート] ボタン→ [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] を選択して、[デバイスマネージャー] をクリックします。
⑤【デバイスマネージャー】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の項目名をダブルクリックして表示される【プロパティ】ダイアログで [ドライバー] タブをクリックしてください。
⑥ [無効] ボタンをクリックし、[はい] をクリックしてから、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windowsを再起動すると、通常モードでWindowsが起動します。

・この方法でもWindowsが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.6 終了できない

A ・電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。
その際、必ずHDD LED(☞22～23ページ)がついてないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、ACアダプターおよびバッテリーパックを抜いてください。

Q.7 いきなり画面が消えた

A
・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。マウスやキーボードを動かしてください。

・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモードになります。電源スイッチを押してください。

・ACアダプターのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリーが充電されていない可能性があります。
バッテリーを十分に充電してください。

リカバリーの方法

ハードディスク内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

本書では、リカバリーの実行方法のみ説明します。データのバックアップ、データの復元方法については、ユーザーズガイド2をご参照ください。

リカバリー中は、電源を切らないでください。

リカバリーの種類

リカバリーには、「ハードディスクリカバリー」と「OS選択起動ディスクを利用したリカバリー」の2種類があります。

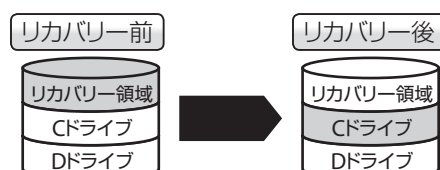
ハードディスクリカバリーは、プリインストールされているWindows7をリカバリーできます。
OS選択起動ディスクを利用したリカバリーは、インストールするOSを選択する事ができます。
Windows 7(32bit)⇔Windows 7(64bit)
Windows 7(32bit)⇔Windows XP(32bit) ※Windows XPをB.T.O.モデルで選択された場合のみ

ハードディスクリカバリーでは、「標準モード」と「高度モード」の2種類を選択できます。
OS選択起動ディスクを利用したリカバリーでは、「高度モードの②」のみが使用できます。

Windows XPがインストールされている場合、ハードディスクリカバリーはできません。OS選択起動ディスクを利用したリカバリーをご利用ください。

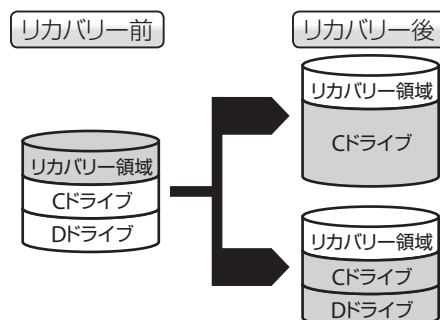
■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

■ 高度モード

Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。復旧方法(リカバリーのタイプ)は、2つの方法から選択することができます。

①HDDの全体をCドライブとする
　ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

②HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする
　ハードディスク全体を2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

ハードディスクリカバリーの手順

本製品にプリインストールされているWindows 7は、ハードディスクリカバリーができます。ハードディスクリカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。

本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず[スタート]ボタン→[シャットダウン]を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

2. **"ONKYO"ロゴが消えた直後、画面が黒くなったら F8 キーを数回押します。**

【詳細ブート　オプション】画面が表示されます。

・Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF(シャットダウン)にして再度手順1をおこなってください。
・"ONKYO"ロゴの入った画面は、表示時間が大変短いです。F8 キーを押すタイミングは"ONKYO"ロゴが消えた直後ですが、押すタイミングが合わない場合は、"ONKYO"ロゴが表示されてから【詳細ブート　オプション】画面が表示されるまでの間、F8 キーを断続的に押し続けてみてください。

BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3. **[コンピューターの修復]を選択して、Enter キーを押します。**

Windowsが、コンピューターの修復モードで起動します。
起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。

詳細ブート オプション

詳細オプションの選択: Windows 7
(方向キーを使って項目を選択してください。)

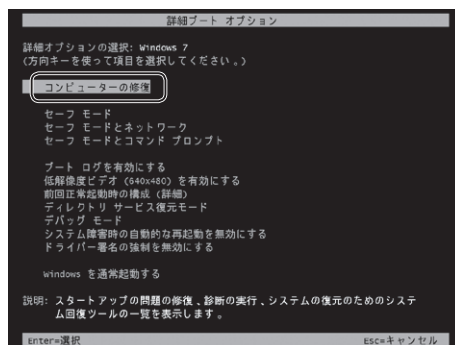
コンピューターの修復

セーフ モード
セーフ モードとネットワーク
セーフ モードとコマンド プロンプト

ブート ログを有効にする
低解像度ビデオ (640x480) を有効にする
前回正常起動時の構成 (詳細)
ディレクトリ サービス復元モード
デバッグ モード
システム障害時の自動的な再起動を無効にする
ドライバー署名の強制を無効にする

Windows を通常起動する

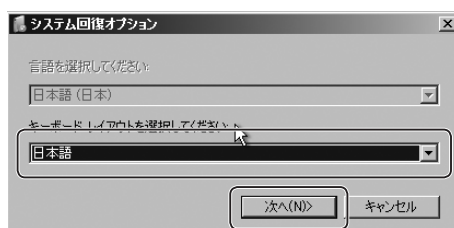
説明: スタートアップの問題の修復、診断の実行、システムの復元のためのシステム回復ツールの一覧を表示します。

Enter=選択　　Esc=キャンセル

4. **次のように設定されていることを確認してください。**

「言語を選択してください」: 日本語

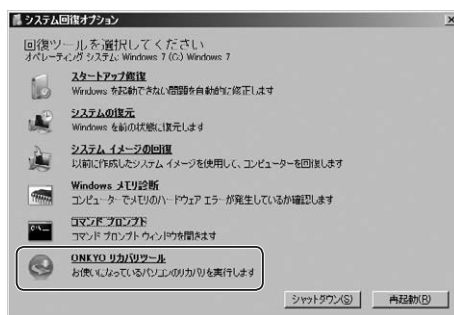
※すでに [日本語] が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

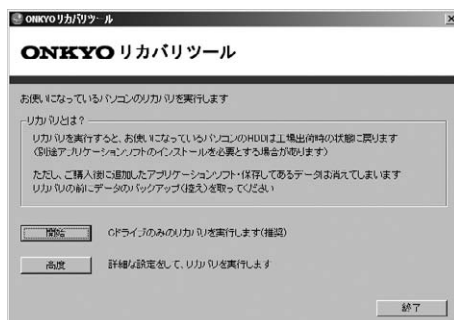
「キーボード レイアウトを選択してください」: 日本語

確認後、[次へ] ボタンをクリックします。

5. **▼をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。**

6. **パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。**

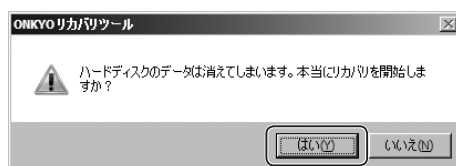
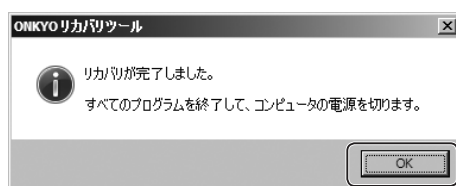
7. **回復ツールの選択一覧から、[ONKYO リカバリツール] をクリックします。**

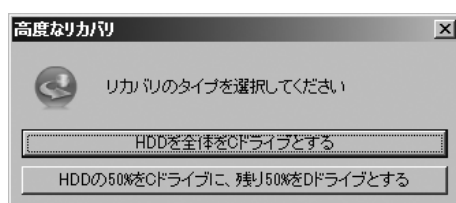
【ONKYOリカバリツール】が起動します。

8. **[開始] または [高度] ボタンのいずれかをクリックします。**

リカバリーを中止する場合は、[終了] ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので [はい] をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

■ [開始] を選択したとき

1. **[はい] ボタンをクリックします。**

リカバリーが開始されます。

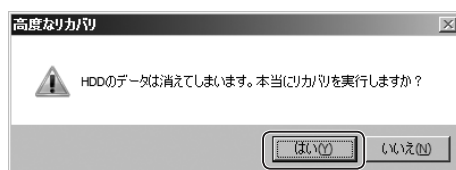
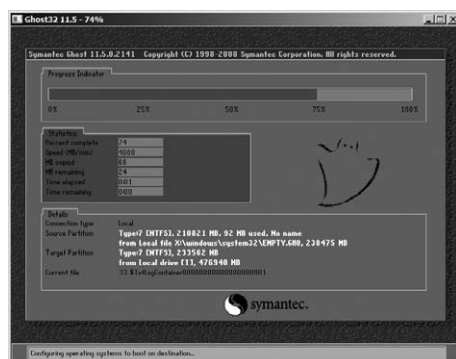
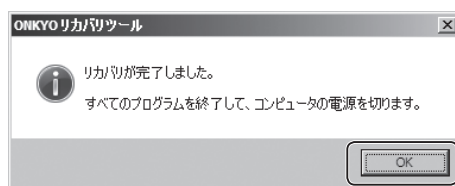
リカバリーを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、【ONKYOリカバリツール】に戻ります。
[終了] ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい] をクリックして、36ページー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

2. **[OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

■ [高度] を選択したとき

1. **[HDDを全体をCドライブとする] または [HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする] のいずれかを選択してください。**

2. **[はい] ボタンをクリックします。**

リカバリーが始まります。リカバリー実行中は、右の画面が表示されます。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

セットアップ編

トラブル解決編

3. **［OK］ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

OS選択起動ディスクを利用したリカバリーの手順

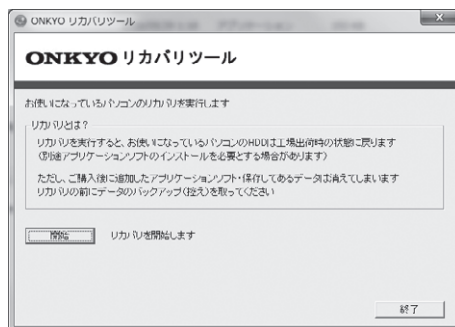
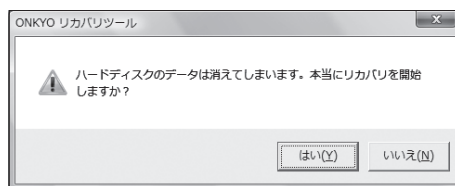
OS選択起動ディスクは、ハードディスクリカバリーができない場合、およびインストールするOSを選択する場合に使用します。
Windows 7(32bit)⇔Windows 7(64bit)
Windows 7（32bit)⇔Windows XP（32bit) ※Windows XPをB.T.O.モデルで選択された場合のみ
OS選択起動ディスクを利用したリカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

1. **製品の電源をONにします。**

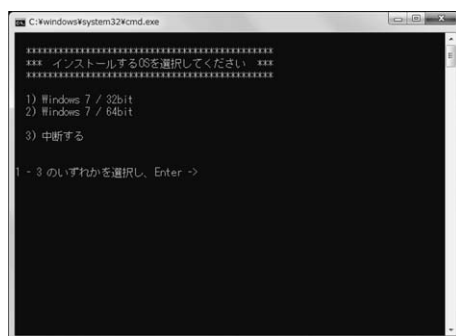
2. **"Windowsロゴ"が表示される前までに、光ディスクドライブに「OS選択起動ディスク」をセットします。**

Windowsが起動してしまった場合、再度上記手順をおこなってください。

BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3. **［開始］ボタンをクリックします。**

4. **［はい］ボタンをクリックします。**

5. リカバリーするOSを選択して、Enterキーを押します。

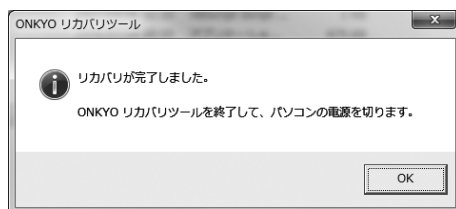
Windows 7 32bitの場合：1キーを押します。
Windows 7 64bitの場合：2キーを押します。

Windows XPモデルを選択されている場合、Windows 7/Windows XPの選択画面が表示されます。

6. 2キーを押します。

リカバリーが始まります。リカバリー実行中は、右の画面が表示されます。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windowsのセットアップが始まります。「STEP4 Windows 7をセットアップする」（☞12ページ）を参照して、セットアップを完了させてください。

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンターへ運搬。
4. リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口
一般社団法人パソコン3R推進協会

インターネットからのお申し込み

http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(☞41ページ)をご参照ください。

・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社Webサイトでも紹介しております。ぜひご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

回収の仕組み

家庭/個人から排出

お申込

【家庭系パソコンリサイクル窓口】
リサイクルセンター
電話:0570-003196(ナビダイヤル)
月曜～金曜 11:00～17:00
(土･日･祝日および弊社指定休業日を除く)
インターネット:
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

マークあり

マークなし

郵送にて、リサイクル費用支払い用紙が到着

支払い

リサイクル費用※の支払い
(コンビニエンスストア･郵便局)

伝票受取

「エコゆうパック伝票」到着
PC梱包時の注意事項※を確認し、エコゆうパック伝票を添付。

回収

「エコゆうパック」にて回収
「お客様持込」または、「戸口集荷」

再資源化

再資源施設へ
排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ(http://www.post.japanpost.jp/)で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合わせ番号を検索して調べられます。

事業者から排出

お申込

事業系パソコンリサイクル窓口
一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、上記のWebサイトにてご案内しております。

リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

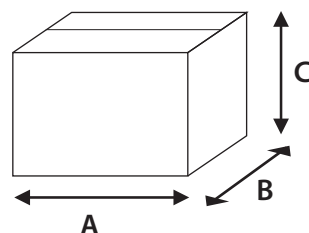
(本書制作時)

※なお、お支払い時には各種振込手数料(コンビニエンスストア:¥63、郵便局(窓口):¥110、郵便局(ATM):¥70)が発生します。予めご了承ください。

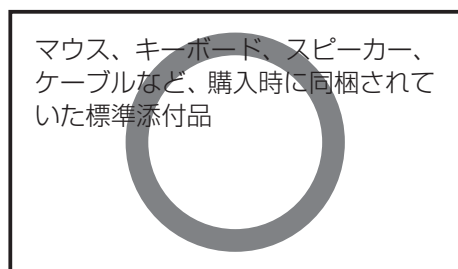
PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で問題ありません。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです
・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A+B+Cの長さ=1.7m以内

<条件を満たさない場合>
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、リサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20080910.pdf)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

家庭系パソコンリサイクル窓口

【リサイクルセンター】

電話：0570-003196(ナビダイヤル)
月曜～金曜　11:00～17:00
(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)
この電話番号は、リサイクル専用です。
製品に関するサポートはおこなっておりません。

インターネット:
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

- ●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピューターを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。
※回収再資源化料金については、「リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）」(☞41ページ)をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作をおこなう
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化(フォーマット)する
- ・ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

索　引

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows 7以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨー株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

R/DRユーザーズガイド1　2010年9月 初版